

外国人留学生研究発表会

外国人留学生から見た日本。
アジアの国との異文化間理解。

本学で学ぶ外国人留学生が、日本社会や文化について調査、研究を行なった結果を日本語で発表します。お気軽にご参加ください。

日時 **2023年12月20日(水)** 9:05~10:30 (申込不要・入退室自由)
会場 **京都ノートルダム女子大学 ユーニア館 3階 NDホール**
発表者 「日本語表現Ⅱ」(高岸雅子講師) 履修の外国人留学生 計 4名

プログラム 【発表時間+質疑応答時間】 1名18分程度

1	犬が好きな人と猫が好きな人の性格はどのように違うか 現代人間学部 心理学科1年次生	動物の好みによる人間の性格判断は心理学に関係があると考えられる。 そこで、「犬が好きな人と猫が好きな人の性格はどのように違うか」というテーマを選んだ。前半の調査では、犬と猫とどちらが好きか、好きな理由は何かなどを質問し、後半は性格テストを実施し、好きな動物によって性格が異なるかについて調べる。
2	休日の過ごし方について 国際言語文化学部 国際日本文化学科1年次生	現代社会において、仕事が生活に占める割合が大きくなり、仕事と切り離して休日を過ごすことができない人々も増えている。 そこで日本人と外国人を対象に、休日のイメージが以前と変わってきたか、休日に対する満足度、思想的な休日の過ごし方など、さまざまな角度から調査分析する。
3	ベトナムの民族衣装 アオザイについて 現代人間学部 生活環境学科1年次生	アオザイは長い間ベトナムの民族衣装となっており、ベトナム人の民族的アイデンティティを示している。 そこでベトナムの若い女性を対象に、アオザイの着用に対する考え方、アオザイを伝統衣装として継承することを望んでいるのかなどを調べたい。さらに外国人を対象に、アオザイの認知度や印象についても調べる。
4	日本の着物の「自由な発想の装い」についての日本人と外国人の考えと今後の着用意向 国際言語文化学部 国際日本文化学科1年次生	最近日本の着物の概念が変わってきており、洋服のアイテムを着物に取り入れるなどの「自由な発想の装い」が広がってきた。 そこで日本人と外国人を対象に、日本の伝統衣装である着物についてどう考えるか、着物の「自由な発想の装い」を受け入れられるか、さらに今後の着物の着用意向について調査した。



京都ノートルダム女子大学

教育支援部 学事課

〒606-0847京都市左京区下鴨南野々神町1番地
TEL:075-706-3661 FAX:075-706-3790
E-mail: gakuji@notredame.ac.jp
<http://www.notredame.ac.jp>